

文献

磯部亮一、1988 岐阜県笠松町にオニバス. 水草研究会報 31: 10.

久米 修、1987 香川県におけるオニバスの生育状況
1. 水草研究会報 27: 16~19.

波田善夫、1988. オニバスの復活. 水草研究会報 33・34: 31~33.

大滝末男、1982. 太古の謎をひめて花開くオニバス. アニマ 115 (9): 54~60.

吉田吉之助、1988. 牛久沼のオニバス. 趣味の山野草 96 (7): 64~65.

山口県秋吉台カルストから生じる湧泉などの植物

南 敦・阿武 至朗・多賀谷美枝子

1. はじめに

秋吉台は長門山地の中央部、秋芳町、美東町、美弥市にわたる面積約130km²、標高200~400mの石灰台地(山口県百科事典12ページより)。石灰岩は二酸化炭素を含む水にとけ、地上にカルスト地形、地下に大小の洞窟や地下水系をつくり、各地に湧泉を生じる。この湧泉は普通の湧泉と同様に冬は暖かく、夏は冷涼であるが、湧出量は特に多く、成分的にはCaCO₃、Ca(HCO₃)₂、CO₂などを多量に含むわずかにアルカリ性を示す。

1991年10月6日、筆者等はこの秋吉台やその周辺の湧泉などの植物を調査した。なお、湧泉には、泉は小さいが湧出量が著しく多いものから、大きな池でどれだけカルストから湧出しているのか不明のものまであった。

2. 各湧泉などの植物

(1) 秋芳町嘉万、秀十の湧泉

約1.5m×約1.5m。小さい泉であるがよく湧き出している。水は透明。エビモが多く、岸からセリやキショウブがのびている。岸に約1.5mのアカメヤナギが1本ある。

(2) 秋芳町嘉万、厚東川上流の「はりのき橋」のところ。川幅約20m。川にはオオカナダモが大群生。砂州や岸にツルヨシ群落がある。

(3) 秋芳町別府、河原上の池

約80m×約100m。大きな池。やや日陰。水草は全く見られない。池のごく近くの山の斜面にサイコクキツネ

ヤナギ、ネコヤナギなどが数本ある。

(4) 秋芳町別府、白水の池

約30m×約70m。池は深さ約10mをこす所もありそうで、水はやや青色がかっている。湧水量は非常に多く、川幅約4mの小川に勢いよく流れ出している。池の東側周辺にミクリの大群落。全体にマツモが著しく多く、クレソン、センニンモも多い。ホザキノフサモがかなり多いが花穂を着けたものが全くなき、全体小形、少し褐色で草勢が著しく悪い。エビモが少しある。池の上の田の排水溝にクワイが5本生えている。池の下の川(幅約4m)にはセンニンモ、ミクリ、ホザキノフサモのいずれも著しく多い。エビモも少しある。

川岸に開花したオギが幅約1.5m、長さ約25mの群落をつくっている。

(5) 秋芳町別府、中村の小川

川幅約1.5mの小川。流れは遅い。エビモが密生。小川の約1m近くに高さ約1.5mのコリヤナギ2本、高さ約1.5mのイヌコリヤナギ2本がある。

(6) 秋芳町秋吉、曾和の湧泉

約4m×約5m。少し木陰である。ホザキノフサモがやや多いが褐色がかっていて小形で花穂は全くない。クレソン、エビモ、センニンモ、サンカクイ、セキショウなどが普通にあり、岸辺にカササゲが多い。

(7) 秋芳町瀬戸、呼岩付近の湿地

ごく稀なタコノアシが23本。ジャヤナギ、ネコヤナギ、アカメヤナギなどの群落がある。

このアカメヤナギは若葉や茎が大変赤いが葉の形はジャヤナギは類似している。また、大きな托葉も見られない。こういう型は秋吉台方面に度々出てくる。今後の研究を要する。

(8) 秋芳町岩永、泉の湧泉

約4m×約50m。小さい湧泉だが湧出量は非常に多い。ミクリ、カンガレイなどがそれぞれ著しく多い。ホザキノフサモも多い。これは、ここでは緑色をしているがやはり小さい。花穂は全く見られない。センニンモも密生している。コウキクサ、ウキクサなどが多数浮いている。岸ではオグルマが2本開花していた。

(9) 秋芳町秋吉、八重ヶ原の池

国道の側。約80m×約80m。ヒシがほぼ全面。岸にヨシが少し。東側の浅瀬にアシカキが密生している。

(10) 美東町大田、鳶の巣の池

約100m×約100m。広い池である。全面にヒシが密生。周囲にマコモが多数。西側の湿地にサクラタデ(開花中)が多い。ガマ、コガマ、マコモなどが大群落をつくっている。ジャヤナギ、タチヤナギ、アカメヤナギなどが多い。常時給餌されよく馴れたカルガモ(?) 32羽、全く野生のバン2羽、ゴイサギ1羽が見られた。

(11) 美東町赤、八幡池(上の池)

約100m×約100m。広い池。ホザキノフサモはよく開花し、大きくてかなり多い。ヒシとオオカナダモは著しく多い。センニンモ、クロモなどもやや多い。周囲にはキヌヤナギ、シダレヤナギ、ジャヤナギなどが栽植されている。岸にはマコモやオギ(開花中)が密生している。

(12) 美東町赤、八幡池(下の池)

約100m×約100m。ヒシとオオカナダモが著しく多い。クロモ、センニンモも多い。水がかなり腐敗している。腐りかけたヒシも多い。岸にマコモとオギが密生している。

(13) 秋芳町青景、樫の森の池(上の池)

約80m×約80m。広い池だがヒシがごく少数見られるだけである。

(14) 秋芳町青景、樫の森の池(下の池)

約60m×約70m。全面にヒシが密生。この地方ではじめて見つかったイヌタヌキモがかなり多い。カラスガイの死んだ貝殻が非常に多数ある。生貝は採れなかった。池の上側の広場にジャヤナギとアカメヤナギが約10本ある。このアカメヤナギは若葉、茎とも大変赤いが、葉幅がせまく、葉先がとがり、托葉もない。この地方のアカメヤナギはほとんどこの型である。今後の研究を要する。

3. まとめ

- (1) 湧泉の水生植物は非常に少ない。
- (2) 湧泉特有の植物はみられないが、強いてあげれば、ミクリ、クレソン、カンガレイなどである。
- (3) 他の地方では多くの池で見られるイトモ、イヌタヌキモなどがほとんど見られない。マツモも比較的少ない。

(1991. 10. 17記)

山口県周防部南部の池沼・ 河川の水草(その3)

南 敦

標記の場所を調査したので報告する。証拠標本は山口県立山口博物館に納入した。

(謝辞) 水草について常々多くの御教示を頂戴している角野康郎先生に深甚の謝意を表す。上関町ならびに周東町の御案内を頂いた内山由子先生と柳井市前池の御案内を頂いた行村良子先生に厚く御礼申し上げる。

凡例：(1)、〔 〕はゼンリン住宅地図(1992)のページを示す。(2)、水草の多少などは全て調査日の観察によるものである。

1. 柳井市

(1) 大迫池〔柳井P.123〕：柳井市苗代地 1991. 9. 8 池の全面にヒシ。マツモも密生。岸辺にガマも多い。ブルーギル、スジエビ、食用ガエル、鯉などいずれも多数いる。1991. 9. 24 ヒシ、マツモが多数腐敗、水面に油。

腐敗臭があり、大きな鯉の死体2つを見た。魚、エビは死んだためか見られなかった。